



旭市

第48号
2018年1月15日

社協だより

編集発行
社会福祉法人
旭市社会福祉協議会
旭市横根3520番地
TEL.0479(57)5577
FAX.0479(57)2836
URL www.asahi-shakyo.jp
e-mail: asahi-shakyo@cpost.plala.or.jp



～赤い羽根共同募金運動にご協力ありがとうございます～

11月12日(日)に海上コミュニティ運動公園で行われた「産業まつり」に参加しました。毎年恒例ではありますが、赤い羽根共同募金の募金活動に併せて、老若男女に楽しんでいただける、お菓子のすくい取りや風せんなどの啓発物資の配布を行いました。

今年もたくさんの方にご参加いただき、あっという間にお菓子は品切れとなってしまい、とても好評でした。

おかげさまで赤い羽根募金も大勢の方にご協力をいただき、31,848円の募金が集まりました。

皆さまのご協力に感謝いたします。



謹んで年頭のご挨拶を申し上げます



社会福祉法人 旭市社会福祉協議会
会長 埴 政 美



市民の皆様にはさすがしく新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

日頃より、社会福祉協議会の各種事業に対しまして、温かいご支援とご協力を賜り、役員一同、心から感謝申し上げます。

さて、去年は、「地域で支え合い 誰もが生きがいを持てるまちづくり」を基本理念として市の地域福祉計画と一体的に第3次地域福祉活動計画を策定しました。地域社会で支援を求めている方に地域住民が気付き、住民相互で支援活動を行えるような地域住民のつながりの再構築を目指し、支え合いのできる体制が実現できるよう、基本理念のもと、市民、地域、社会福祉協議会、行政が協働して地域福祉を推進して参ります。

また、去年は、経営の健全化をはじめ、地域福祉事業や在宅福祉事業の運営強化を進めてまいりましたが、その中でも、本年は地域包括支援センターの受託を目指して、手続きを進めていく所存であります。

これまで行って参りました地域福祉事業、在宅福祉事業、受託事業におきましても、市民のニーズに添って一層の効果的な事業、サービスの向上に努めてまいりますので、市民の皆様におかれましては、引き続き本協議会に対しまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって健やかで幸多き年でありますようご祈念申しあげ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

恋する豚研究所に行ってきました!

10月2日(月)に障害者交流事業を開催しました。市内の障害者団体の会員の皆さんと一緒に、成田方面にバスハイクに出掛けました。毎年恒例となっている、ホテルのランチバイキングの他に、今年は香取市にある「恋する豚研究所」の視察研修と、こだわりの豚肉で作った加工食品などのショッピングを楽しみました。



ボランティア講座参加者募集

人の思いや気持ちに耳を傾け、共感する

傾聴ボランティア

～ フォローアップ講座 ～

傾聴について学び

今後の活動に生かしませんか。

初めての方も参加可能です。



日 時：平成30年2月24日(土)

13時30分～15時30分

場 所：飯岡福祉センター研修室

定 員：30名(先着順)

参 加 費：無料

申 込 先：旭市社会福祉協議会 (☎57-3133)

電話での受付時間 AM8:30～PM5:15(土曜・日曜・祝日は除く)

※定員になり次第締め切らせていただきます。

「小さな親切」
運動旭市支部
活動等紹介
コーナー

「小さな親切」運動の活動紹介

【日本列島コスモス作戦⇒地域の美化活動】

例年同様に「小さな親切」運動旭市支部では、11月29日に地域の美化活動を推進するため、飯岡保健福祉センターの花壇にビオラの花を植えました。また、昨年6月7日も綺麗なお花（ご寄付を頂いたマリーゴールド約300株）を植えて頂き、花壇の手入れも含めて定着した活動になっております。施設利用者の皆様からも、好評を頂いておりますので、今後も継続したいと思います。

なお、今回もボランティアグループ「やよい会」の8名の皆さまに、ご協力を頂き有難うございました。



入選者1名、おめでとうございます！

【入選作品】旭市立豊畑小学校4年 宇井 凜桜
「私を変えたレモネード」

第42回「小さな親切」作文コンクール

「小さな親切」作文コンクールは、親切体験を作文にすることで、子どもたちに人を思いやる心や言葉について、改めて考えてもらうことを目的に昭和51年からスタートし、今年で第42回を迎えました。

旭市支部内では、今年度も入選作品があり、ここでは作文のタイトルのみ紹介いたします。

なお、本事業は、全国の運動本部が実施をし、応募総数47,204編（小学生：12,251編・中学生：34,773編）で、入賞入選者が130名、うち小学生の部入選者は50名でした。

綺麗な音色が響きわたりました♪

11月30日（木）に本格的な琴の演奏を聴かせてくださる、峰音の会（みねのかい）様が、社会福祉協議会のデイサービスに素敵な音色を運んでくれました。峰音の会様は、今回初めてレクレーションに参加してくださいましたが、お年寄りにも馴染みのある曲ばかりを選んで演奏してください、利用者さんを始め、スタッフも心地の良い時間を過ごすことが出来ました。



～地域で支え合い 誰もが生きがいを持てるまちづくり～

第13回

社会福祉大会開催

11月25日(土)に東総文化会館大ホールにて、第13回社会福祉大会を開催しました。当日は、ボランティア団体の皆様をはじめ、市民の方々が大勢参加されました。

会場では、地域福祉に貢献された方に、加瀬副市長と埴社会福祉協議会長から、表彰状や感謝状が贈呈されました。また、市内の小中学校の福祉作文の表彰や最優秀作文の発表を行いました。

そして、今年の記念公演は、元NHKアナウンサーで、宮司でもある、宮田修さんにお越しいただき、宮田さんのスローライフスタイルなどの、楽しいお話をお聞かせいただきました。

受賞された方々は次の通りです。(敬称略)

市長感謝状

No.	氏名	代表者
1	天台宗北総教区宗務所	弘海高顯
2	NEXUS(株)D'ステーション旭店	星野 敏



主催者挨拶をする
埴会長



開会宣言を行う
宮原副会長



大会開催にあたり加瀬副市長から
ご挨拶をいただきました

会長表彰

役員功労

No.	氏名
1	辻 隆明

ボランティア功労

No.	氏名	No.	氏名
1	杉山 宏	3	阿部ひろ子
2	鈴木伍良	4	大和田 忠



市長感謝状を受け取る、天台宗北総教区宗務所さまと、
NEXUS(株)D'ステーション旭店さま

篤志寄付功労

No.	氏名	代表者
1	薄田 豊	
2	あさひ舞踊会	花園千名美
3	(株)ステップ	今関慎治
4	旭市文化協会美術部	加瀬小夜子
5	旭市文化協会芸能部	来栖利雄
6	日蓮宗千葉県東部宗務所	富永観瑞
7	歌謡旭クラブ	増田清一
8	銚子法人会海上地区会	椎名正良
9	家庭健康管理研究会	有我豊子
10	マミー商会	宮内正己



受賞された代表者の皆さまです



大勢の来賓の方にもお越しいただきました



受賞者の方々です

会長感謝状

篤志寄付功労

No.	氏名	代表者
1	飯嶋三郎兵衛	
2	日華化学株式会社	江守康昌
3	合同歌謡会	野仲哲二
4	銚子商工信用組合信友会	森山和紀
5	認定NPO法人 日本車椅子レクダンス協会 千葉東総支部	加瀬佑子
6	昭和28年3月卒業 旭町立旭中学校同窓会	加瀬 実
7	飯岡舞踊会	佐久間智恵乃



記念講演を行う宮田修さん



大会宣言を朗読する平澤副会長



笑いを交えて色々なエピソードを
お話いただきました



大会にあたりボランティアの皆様には早い
時間からお手伝いいただきありがとうございました

社会福祉作文入賞者

小学生の部

No.	表彰区分	氏名	学校名
1	最優秀	石毛羽南	旭市立飯岡小学校 6年
2	優 秀	金子さわ	旭市立中央小学校 5年
3		石毛日菜	旭市立鶴巻小学校 5年
4		菅谷日和	旭市立富浦小学校 6年
5		佐久間天翔	旭市立三川小学校 6年
6		平野将久	旭市立飯岡小学校 6年
7	佳 作	鈴木義央	旭市立干潟小学校 5年
8		平山琴望	旭市立干潟小学校 6年
9		井上夢菜	旭市立豊畑小学校 5年
10		飯田雛多	旭市立滝郷小学校 5年
11		浪川日向子	旭市立嚶鳴小学校 6年
12		板寺真央	旭市立萬歳小学校 5年



福祉作文入賞の小中学生の皆さん

中学生の部

No.	表彰区分	氏名	学校名
1	最優秀	高野嘉人	旭市立第二中学校 1年
2	優 秀	林 夏美	旭市立第一中学校 2年
3		坪井愛莉	旭市立飯岡中学校 1年
4		菱木純聖	旭市立飯岡中学校 1年
5	佳 作	渡辺茉緒	旭市立第二中学校 2年
6		関口風花	旭市立海上中学校 2年
7		藤野 心	旭市立飯岡中学校 2年

社会福祉作文の紹介をします



小学生の部 《最優秀》

福祉について思うこと

旭市立飯岡小学校 第6学年
いしげ はな
石毛 羽南 さん

作文の発表をする飯岡小学校6年 石毛 羽南さん

福祉という言葉はよく耳にするけれど、くわしい意味を知りたくて、私は調べることから始めました。辞書では、多くの人々の幸せ、幸福、と書かれていました。また別の本には困っている人がいれば助け合う。進んでボランティアをする。福祉は、これからの社会の大事な一つであるとも書いてありました。電車やバスにある優先席。駅のプラットフォームにある点字ブロック。車いすのまま入れるトイレ。最近増えている段差を無くしたバリアフリーの建物。これらは、すべて福祉に関わるものと紹介されていました。

福祉というと、むずかしいものだと思っていましたが、その意味を調べてみると身近なものであり、私にも何かできることがあるのではないかと思うようになりました。

例えば、優先席ではなくても、お年寄りや赤ちゃん、小さい子どもを連れた人に、席をゆずることは今の私にもできることです。しかし実際は、お年寄りが立っていても、知らない人に話しかけるのがこわくて、席を代わってあげられないことがありました。福祉とは思っているだけではなく、行動に移すことが大切なのだと思います。

私は五才の時に、足を骨折したことがあります。小さい時のことなので、あまりよく覚えてはいませんが、普段の生活では当たり前でできた階段ののぼり降りや洋服

を着たり脱いだりすることがとても大変だったことをよく覚えています。骨折している私のことを手伝ったり、一緒に生活したりしていた家族もとても大変だったと思います。

このことから誰もが暮らしやすく不自由のない、安心して住める社会や環境をつくることは大切なことだけれど、それはむずかしいことでもあるように思います。

また私は今、この町で不自由なく生活することができていますが、同じ環境のなかでも生活に不便さを感じている人もいます。それは、歩くことがむずかしい人、目が不自由な人、小さい子どもたち、不便に感じることは、人それぞれちがうからです。だから誰にとっても住みやすい不自由のない社会や環境をつくることはむずかしいように思うのです。

でも、困っている人がいたら、声をかけ合う、助け合う、思いやりのある社会をつくっていくことは、一人一人の気持ちによってできることだと思います。一人の力では不自由のない社会や環境をつくることはむずかしいですが、私たち一人一人がそういった気持ちを持ち、行動することがみんなの幸せにつながるのではないかと思います。私はそんな行動ができる自分になりたいです。



中学生の部 《最優秀》

笑顔と福祉

旭市立第二中学校 第1学年
たかの よしと
高野 嘉人 さん

作文発表をする旭市立第二中学校1年 高野 嘉人さん

ぼくの曾祖母は、大正十年生まれの九十六歳です。ぼくは曾祖母のことを、としよばあちゃんと呼びます。としよばあちゃんは、足腰が強く、毎日近所に散歩に行くのが日課でした。となりの家に住んでいるので、ぼくの帰宅を庭で待っていてくれたり、頑張った事を誰よりも喜んでくれ、ほめてくれました。「よっちゃんはすごいね。」と言ってくれるのが嬉しくて、ぼくもとしよばあちゃんの笑顔を見るのが大好きでした。趣味は読書で、毎日日記を書く程しっかり者でした。

そんなとしよばあちゃんが、三年ほど前から、認知症が進行し、ぼくの名前を忘れてしまったことは、とても悲しく、切なかったです。養護老人ホームでのデイサービスに週三日ほど行っていたとしよばあちゃんですが、それでも認知症は日に日に進行していき、今年の六月、特別養護老人ホームの入所が決まり、ぼくとは益々、会える日が少なくなってしまいました。ぼくは、ただ単純にどうしてとしよばあちゃんが、特別養護老人ホームに入所しなければならなかったのだろうと思ひ父と母に聞いてみました。

「としよばあちゃんは、体は元気でも、日常生活が困難になってしまい、となりで一緒に暮らす祖母の負担が大きくなってしまったから、話し合っただけで決めた事なんだよ。」と教えてくれました。介護はこれほど大変な事なんだと改めて実感しました。ぼくは、としよばあちゃんにも、祖母にも何もしてあげられなくて、とても悔しく、情けない気持ちになりました。

特別養護老人ホームへ入所する前日、家族みんなで夕飯を食べました。としよばあちゃんはいつもと変わ

らず、大好きなお酒とお寿司をおいしそうに食べていました。その時、ぼくは思いました。としよばあちゃんの笑顔はぼくの宝物。だから時々会いに行き、としよばあちゃんを喜ばせてあげようと思いました。

先日、としよばあちゃんが入所する施設に行きました。施設内に入館するには、書類に記入し、除菌されたスリッパにはきかえました。エレベーターも暗証番号を押すようになっていました。階段も上下封鎖されていて、お年寄りの事故を防ぐよう、工夫されていました。また、すごく静かで、ゆったり過ごせる環境でした。他に入所している方々とのコミュニケーションの場もあり、おしゃべりを楽しんでいるとしよばあちゃんの姿を見て、安心しました。三十分程の面会でしたが、こうしたお年寄りの人達とよりそって仕事をしている施設の方々を見て、感謝の気持ちと、尊敬する気持ちでいっぱいになりました。

としよばあちゃんは、ぼくが来ると、手をたたいて喜んでくれます。ぼくの手を力強く握り、ポンポンと頭をさわり、うっすらと涙を見せたりしますが、帰るまで嬉しい嬉しうって笑顔を見せてくれました。

お互いが温かい気持ちになる事が、福祉だと思います。これからの時代、お年寄りは増え、介護という仕事は益々重要になると言われています。介護は、社会的に必要な仕事だと思います。ぼくも微力ですが、何かできることからやっていきたいと思っています。

今ぼくができる福祉は、としよばあちゃんの笑顔を大切にすることだと思うのです。

血圧計の寄贈をありがとう！

去る12月20日(水)に飯岡ライオンズクラブ様から「結成50周年記念事業」に伴い、全自動血圧計と専用の椅子を寄贈して頂きました。飯岡福祉センターをご利用の皆様には大変喜んで頂いております。13年前にも血圧計を頂いておりましたのが、昨年故障したため、タイミングがよく寄贈いただき大切に使用させていただきます。誠にありがとうございました。



おたっしゃ会

11月27日(月)にヒューマンプラザ黄鶴にて「おたっしゃ会」を開催しました。当日は119名の皆さんが出席され、園児のお遊戯や劇、舞踊の鑑賞をしながら、会食を楽しみました。

恒例の「おたっしゃですか?」の問いかけには、参加者の皆さんから「おたっしゃですよ!」と元気な返事がかえってきました。



搞会長との会話は弾んだのでしょうか!?



今年も多くの方が集まってくださいました!



明智忠直市長から参加者の皆さんへ温かい労いの言葉をいただきました。



干潟町中央保育園17名の園児による劇やお遊戯を楽しみました。



浦島太郎の劇は、みんな落ち着いてとても上手に演じることが出来ました。



ボランティア連絡協議会の「花寿澄舟会」の皆さんによる舞踊のお披露目がありました。

笑い声もあがり、参加者の皆さんはとても楽しそうでした。



子供たちから手づくりのプレゼントがありました。



最後は恒例の「大漁節」を踊り、おひらきとなりました。来年もまたお会いしましょう!



みんなで記念撮影! 大成功!



急募!!

旭市社会福祉協議会職員を募集します

職種	募集人数	応募期限	身分	採用予定
事務職	1名	随時 ※5日/フルタイム可能な方	臨時職員	随時
介護支援専門員 (ケアマネジャー)	1名	2月16日	正規職員	平成30年4月1日

応募要件／それぞれの資格と普通運転免許取得者
勤務場所／社会福祉法人 旭市社会福祉協議会
提出書類／履歴書(写真添付)・資格証の写し

【申込み先】

〒289-2712 旭市横根3520番地(飯岡福祉センター)
社会福祉法人 旭市社会福祉協議会 ☎57-5577
※待遇等詳しくはお問い合わせください。

第3回 男の料理教室参加者募集!

今回のメニューは、大人から子供まで大人気の「オムライス」です。奥さま、お子さん、お孫さん、そしてご自身のために、一緒に「オムライス」を作ってみませんか? 初めてご参加の方も大歓迎です。ご興味ございましたら、ぜひご参加ください。

日時：平成30年1月25日(木) 9時30分～13時
場所：いいおかユートピアセンター
参加対象：市内在住男性
参加費：500円
定員：20名程度
申込先：旭市社会福祉協議会
(☎57-3133)



電話での受付時間 AM8:30～PM5:15
(土曜・日曜・祝日は除く)

※定員になり次第締め切らせていただきます。

たくさんのご寄付ありがとうございました

9月から12月末までに、大勢の方々からご寄付をいただきました。皆さまのお気持ちを大切に、活用させていただきます(敬省略・順不同)

- 恵心会 ● (株)ステップ ● 旭民謡会
- 歌謡旭クラブ ● 宮カラオケ友の会
- 秀花歌謡教室 ● 飯岡舞踊会 ● 向後久子
- マミー商会 ● 飯岡手編み講座
- あさひ舞踊会 ● 海上歌謡虹の会
- 日華化学(株)関東工場 ● アメリカンフラワー
- 薄田豊 ● 木内豊一 ● 飯嶋三郎兵衛
- 銚子商工信用組合信友会
- 飯岡ライオンズクラブ(血圧計・椅子)

平成28年 熊本地震災害義援金

中国料理 寿苑様

中国料理寿苑様の店舗内に設置された募金箱に、ご来店のお客様から義援金の協力をいただきました。寿苑様のご協力で千葉県共同募金会を通じ、被災地熊本県へ送金することができました。長期間にわたりご協力ありがとうございました。

～歳末助け合い街頭募金～

12月3日(日)にボーイスカウト千葉県連盟旭第2団の皆さまが、カインズホーム旭飯岡店で募金活動を実施しました。

集まった募金は「歳末助け合い募金」として市内の援護世帯や施設の見舞金として配分されます。

寒い中、ご協力ありがとうございました。また募金にご協力いただいた皆さまの善意に感謝いたします。

社会福祉協議会 特別会費

ホンダカーズ東総様
ご協力ありがとうございました。

お詫びと訂正

平成29年10月9日発行、第47号で掲載しました「社協賛助会費」をいただきました、滑川敏夫様ですが、正しくは浪川敏夫様の間違いでした。お詫びして訂正いたします。

心配ごと相談所

社会福祉協議会では、悩みごとや心配ごとの相談を受け付けています。相談は無料となりますので、お気軽にご相談ください。なお、お待たせすることが無いよう、お電話での予約をお願いいたします。(☎57-3133)

場所	期日	時間
飯岡福祉センター	第1・3 水曜日	午後1時30分～午後3時30分
旭市青年の家2階	第2・4 水曜日	午前10時～12時 午後1時～午後3時

※月に4回、水曜日に開催します。ただし、水曜日が祝日の場合は翌日となります。※12月25日から1月7日は休所となります。